

事務事業名		簡易水道監視システム更新事業		所属部	水道局	所属課	工務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	施設G	課長名	飯島 昭
	施策名	(15)上水道の整備		担当者名	安部和吉	電話番号	0854-40-0163
	目的:対象	市民	意図	安全・安心で安定した水道の供給を受ける。		(内線)	4630
	基本事業名	(041)水道施設の整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	総合整備事業	
目的:対象	給水区域外の市民	意図	水道が供給できるように整備する。		項 目 中事業 中事業名	遠方監視整備事業	
					2 0 0 5 1 1 0		
					1 0 0 5 0 1 1		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間

単年度のみ 単年度繰返 (年度 ~)

期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)

設置後、24年が経過した、遠方監視装置(テレメータ装置)の更新を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動

28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)
湯村テレメータ装置更新2台 平田テレメータ装置更新3台 携帯回線通信端末9台 既設改造7箇所	事業計画なし

② 活動指標

	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア 監視システム箇所数	箇所			29	
イ 経年劣化監視システム数	箇所			0	
ウ					
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	給水区域住民、簡易水道施設	ア 簡易水道給水人口	人			6,535	
		イ 監視システム箇所数	箇所			29	
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
機器設置後、24年が経過し、すでに更新時期(法定耐用年数9年、製造者推奨使用年数15年)を過ぎている。また、部品の製造も終了している。	ア 経年劣化監視システム数	箇所			5		
	イ 監視システム更新箇所数	箇所			5		
	ウ 削減する年間通信費	千円			173		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
工事請負費 22,248千円 雲南市簡易水道監視システム更新工事	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			22,200	
		その他	千円			48	
	事業費計 (A)		千円			22,248	
	人件費	正規職員従事人数	人			1	
		延べ業務時間	時間			72	
人件費計 (B)		千円			286		
トータルコスト(A)+(B)		千円			22,534		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国の方針により、平成28年度末に上水道に統合されることになる。	経済比較をし、経済的な材料・手法で設計・施工するよう努めている。	効率的な事業運営が求められている。

事務事業名	簡易水道監視システム更新事業	所属部	水道局	所属課	工務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	今現在、更新等の実施方法はこの手段以外にない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	機器の故障による事故などの危険性が増大し、災害時に安心・安全で安定した供給に影響が出る。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		連携できる類似事業がない。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		新技術の導入、建設コストの削減など設計内容の精査を実施しており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	最小限の人数で対応しているため、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	水道使用料で負担しているため、公平である。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
機器の故障による事故などの危険度が低減し、水道水の安定供給を図った。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
第2次雲南市水道事業総合整備計画と連携し、今後も引き続き、計画的に老朽した施設の更新に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		